

## 【テキスト第 10 章民法演習問題財産編の解答例】

つぎの文章を読んで各問いに答えなさい。

I 大岡不動産(株)は、同社が東京都文京区本郷 2 丁目 5 番地に所有する 20 坪の宅地と同地に立つ建物を 3500 万円で売りたいと思い、新聞の折り込み広告に掲載して買手を募集した。この広告をみた間宮重蔵は、大岡不動産(株)に対して当該宅地と建物を 3500 万円で購入したいと申し込んだ。大岡不動産(株)は、当該宅地と建物を 3500 万円で売り渡すことを 2020 年 4 月 20 日に承諾し、当事者は、同日契約を締結した。契約の際に、宅地・建物の移転登記および引渡しと代金の支払いは、2020 年 5 月 20 日に行うことに決まった。

問 1.この契約の①典型契約の名称②該当する民法の条文および③契約が成立した年月日を答えなさい。

① 売買契約 ② 民法 555 条 ③ 2020 年 4 月 20 日

問 2.この契約が有効に成立するための①当事者と②目的に関する有効要件を答えなさい。

①当事者 ( i 権利能力 ii 意思能力 iii 行為能力 )

②目的 ( i 履行可能である ii 特定 (確定) し得る )

( iii 適法である iv 社会的に妥当である )

問 3.文京区本郷 2 丁目 5 番地の土地および宅地の所有権が大岡不動産(株)から間宮重蔵に①移転した年月日および②民法の根拠条文を答えなさい。

① 2020 年 4 月 20 日 ② 民法 176 条

II 2020 年 4 月 16 日に、間宮重蔵は預金している成金銀行に対して 3500 万円およびその利息を返還することを約束して(イ)契約書を作成し、2020 年 5 月 16 日に、同人の成金銀行口座に 3500 万円が振込まれた。この契約を締結する際に、間宮重蔵の母親の間宮多恵子は、重蔵の返還債務を保証するために、(ロ)契約を締結し、多恵子が新宿区本町 3 丁目 1 番地に所有する(ハ)50

坪の土地に担保を設定するため登記を済ませた。

問 4.(イ)で成立した①典型契約の名称②該当する民法の条文および③成立した年月日を答えなさい。

① 消費貸借契約 ② 民法 587 条の 2 ③ 2020 年 4 月 16 日

問 5.(ロ)で締結した契約の名称を答えなさい。 保証契約

問 6.(ロ)の保証債務を単純保証する場合と連帯保証する場合の違いを①民法の条文を示して②二つ述べなさい。

① 民法 454 条 ② 連帯保証人は、保証人が有する民法 452 条の催告の抗弁権、民法 453 条の検索の抗弁権を有しない。

問 7.(ハ)で設定した①担保の名称および②該当する民法の条文を答えなさい。

① 抵当権 ② 民法 369 条

問 8.売り出された東京都文京区本郷 2 丁目 5 番地の宅地と建物は、鑑定機関が優良物件に認定したとして、大岡不動産(株)が偽って売り出したものであった。実は、1 年半もの間売れ残り、手入れが行われていないものでとても居住に適した優良物件とはいえないものであった。間宮重蔵は、①民法何条に基づき、当該取引に対して②いかような対処をなし得るか述べなさい。

① 民法 96 条 ② 詐欺を理由として契約を取り消すことができる。

Ⅲ大岡不動産(株)と間宮重蔵の間で同社所有の土地とその上に立つ建物の売買(3500 万円)契約が締結された 2020 年 4 月 20 日の同夜に、同地に立っていた建物(特定物)が、大岡不動産(株)の従業員の煙草の火の不始末によって焼失してしまった場合について、下記問に答えなさい。

問 9.間宮重蔵は、大岡不動産(株)に対して、①履行不能・危険負担のいずれを根拠として、②民法 条と 条に基づき、③どのような請求をなし得るのかについて述べなさい。

① 履行不能 ② 民法 542 条 1 項 1 号、415 条

- ③ 間宮重蔵は、4月20日の時点では売買代金を支払っておらず、土地だけを取得しても居住することができないので、当該土地及び建物の売買契約を解除することができる（民法543条）し、これによって、損害を生じたときには、損害賠償を請求することができる（民法415条）。

IV 売買契約の手續が順調に進行し、2020年5月20日に宅地・建物の移転登記および引渡しと代金の支払いが完了した。ところが、イ)宅地の一部には、第三者の長谷川忠吾名義の地上権が設定されており、ロ)引渡された建物の屋根には、雨漏りする箇所が認められた。

問 10.(イ)の下線部について、間宮重蔵は、大岡不動産㈱に対して、①何を根拠として、②民法何条に基づき、③どのような請求をすることができるのかについて述べなさい。

- ① 権利が契約内容に適合しない場合の売主担保責任  
② 民法565条による562条乃至564条の準用  
③ 562条による追完、563条による代金減額、564条による損害賠償および契約の解除を請求することができる。

問 11.(ロ)の下線部について、間宮重蔵は、大岡不動産㈱に対して、①何を根拠として、②民法何条に基づき、③どのような請求をすることができるのかについて述べなさい。

- ① 引き渡された目的物が契約内容に適合しない場合の売主担保責任  
② 民法562条乃至564条  
③ 562条による追完、563条による代金減額、564条による損害賠償および契約の解除を請求することができる。

## 【テキスト第10章民法演習問題家族編の解答例】

I つぎの文章をよく読んで各問に答えなさい。

佐藤勇樹は、鈴木貴子に対して、結婚を、2019年4月2日(火)に申し込み、鈴木貴

子は、佐藤勇樹に対して、結婚を、同日に快諾した。二人の結婚式および披露宴は、2020年6月14日(日)に挙行された。二人は、2020年6月22日(月)に新住所地の役所に婚姻届を提出した。

問 1. 日本国憲法では、「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立…」すると規定されています。これは、日本国憲法の何条で規定されているか。

日本国憲法 24 条

問 2. 二人の婚姻が法律上成立したのは、何年の何月何日か。

2020年6月22日 ※民法739条を参照

問 3. 婚姻の成立する要件を4つ答えなさい。

(1) 当事者 (2) 目的 (3) 意思表示 (4) 要式行為(届出)

※民法739条および742条を参照

問 4. 婚姻障害事由について、民法の条文を明らかにして、その内容を2つ答えなさい。

(1)民法731条 婚姻適齢 (2)民法732条 重婚の禁止

※その他民法733条～737条による障害要件を参照

問 5. 法律要件を充足することで、契約が成立し、契約に一定の効果が生じる法理論構成を何というか答えなさい。

要件 — 効果論

II つぎの文章をよく読んで各問に答えなさい。

妻が婚姻中に懐胎した子(民法772条)を(1)\_\_\_\_\_子という。父または母が認知した子(民法779条)を(2)\_\_\_\_\_子という。(3)準正子(民法789条)および(4)養子(民法809条)は、(1)の子の身分を取得する。夫婦親子関係や親族関係にある者は、扶養義務を負うとされる。(5)夫婦親子関係に生じる扶養義務(民法752・820・877条)は、「パンを分け合う」扶養とされ、(6)親族関係に生じる扶養義務(民法730・877条)は、「有り余ったパンを分け合う」扶養とされる。

問 6. 下線部の(1)と(2)に該当する法律用語を記入しなさい。

(1) 嫡出(子) (2) 嫡出でない(非嫡出)子

問 7. 下線部の(3)準正子について、民法の条項を明らかにして説明しなさい。

民法789条:準正子とは、父が認知した非嫡出子で父母が婚姻すること(1項<婚姻準正>)によって、あるいは、父母が婚姻中に生れた子を父が認知すること(2項<認知準正>)によって、嫡出の身分を取得した子をいう。

問 8. 下線部(4)特別養子が普通養子の法律要件および効果と異なる点を、民法の条文を明らかにして、2つ答えなさい。

民法 817 条の 5 : 特別養子縁組の成立請求時に、6 歳に達している者は、養子となることはできない。

民法 817 条の 9 : 特別養子は、特別養子縁組の成立によって、実方血族との親族関係が切断される。

問 9.(5)と(6)の義務をそれぞれ何というか、答えなさい。

(5) 生活保持の義務 (6) 生活扶助の義務

IIIつぎの各問に答えなさい。

問 10. 離婚手続を4つ答えなさい。

(1) 協議離婚 (2) 調停離婚

(3) 審判離婚 (4) 裁判離婚

※民法 763 条 家事事件手続法 244 条・257 条・268 条・284 条および民法 770 条を参照

問 11. 姻族関係を終了するために手続を要するのは、①配偶者が死亡したとき、②配偶者と離婚したとき、どちらなのか番号で答えて、民法の条項を明らかにしなさい。

① : 民法 728 条 2項

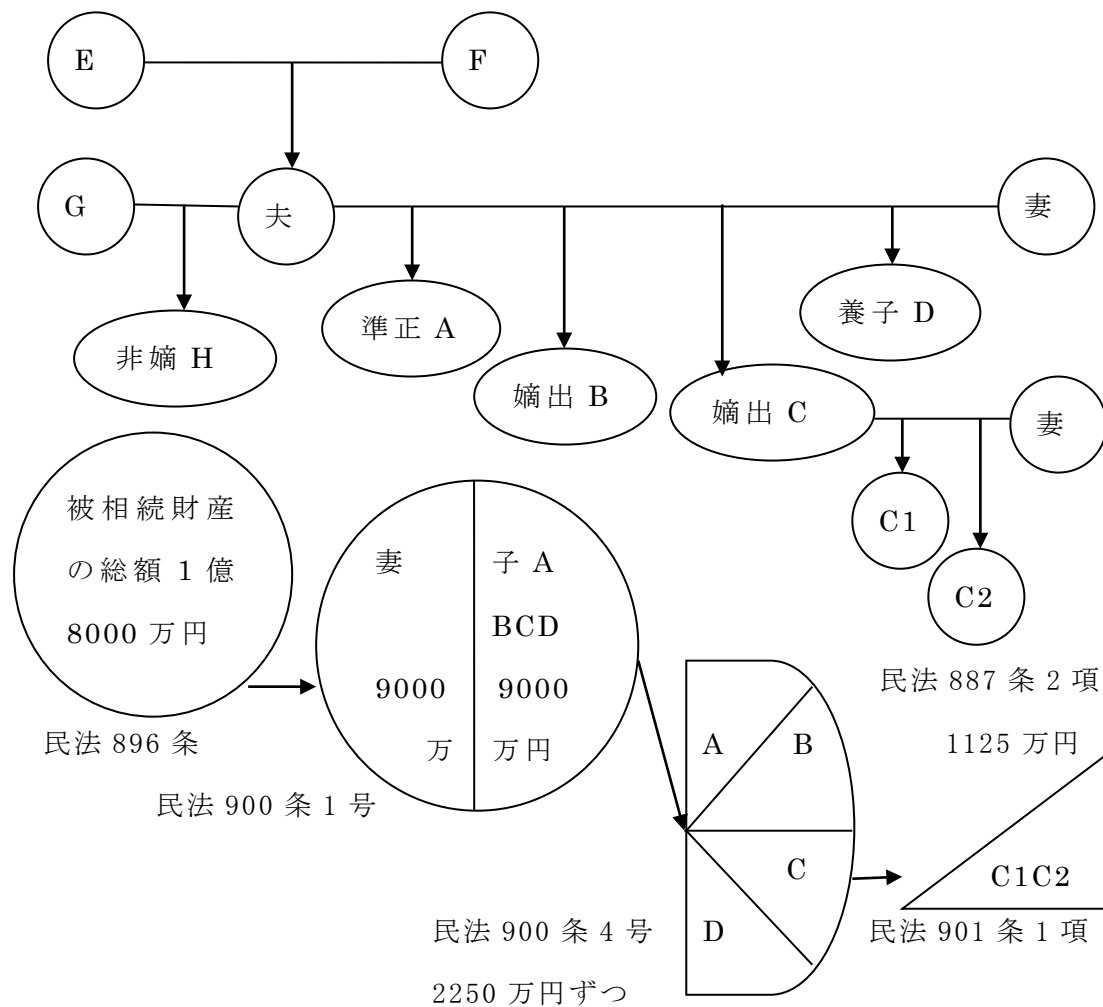
IVつぎは、相続が開始されたある家族の状況を記載したものです。よく読んで各問に答えなさい。

2020年5月1日に夫甲が死亡した。(1)甲の家族としては、配偶者妻の乙、甲と乙との

間で誕生した準正子A、嫡出子BおよびC、養子D、そして甲の両親EとFが認められたが、嫡出子Cは、すでに2018年に死亡していた。Cには、嫡出子C1とC2がいる。確認された甲の相続財産は、土地・家屋、株式、預貯金等の合計金1億8000万円だった。(2)2020年7月18日に、甲の財産の相続について話し合うことになった。その際に、父親の(3)遺言が弁護士の手によって開封された。それによると、甲とGとの間には、子Hの存在が記されており遺言認知されていた。

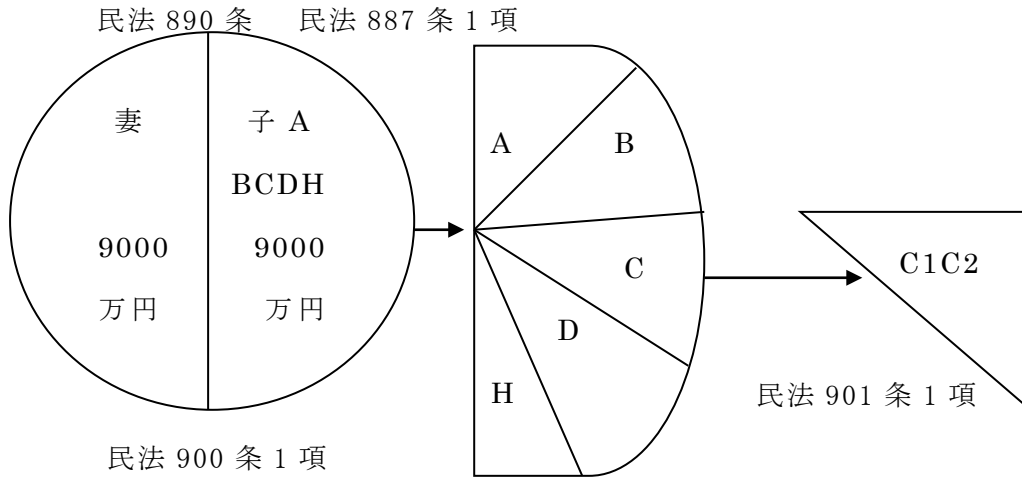
問 12.(1)の時点で認定される甲の相続人を記号で記入し、その相続人が得る相続財産の金額を示しなさい。

- ① 乙 ; 9000 万円    ② A ; 2250 万円    ③ B ; 2250 万円  
 ④ D ; 2250 万円    ⑤ C1 ; 1125 万円    ⑥ C2 ; 1125 万円



問 13.(2)の時点で確認される甲の相続人のうち、A、C1およびHが得る相続財産の金額を示しなさい。

- ① A ; 1800 万円    ② C1 ; 900 万円    ③ H ; 1800 万円



民法 900 条 4 号本文 A~H 各 1800 万円

民法 901 条 1 項 C1,C2 各 900 万円

問 14.①被相続人甲の死亡以前に死亡したCに代わって、C1およびC2が相続する場合。  
②被相続人甲の死亡以前にC2も死亡しており、C2に子C3がある場合には、C3がC2に代わって財産を相続することになる。それぞれの相続を何というか答えなさい。

- ① 代襲相続    ② 再代襲相続

※民法 887 条 2 項を参照    ※民法 887 条 3 項を参照

問 15.(3)の普通遺言の形式を3つ述べなさい。

- ① 自筆証書遺言    ② 公正証書遺言    ③ 秘密証書遺言

※民法 968 条を参照    ※民法 969 条を参照    ※民法 970 条を参照

問 16.自筆によって作成された遺言の成立に必要な4つの要件および民法の条項を書きなさい。

- ① 全文自書    ② 日付自書    ③ 氏名自書    ④ 印を押す(押印)    ⑤

民法 967 条 1 項

問 17.配偶者および直系卑属が被相続人の相続財産に占める遺留分の割合は、いかほどか。

- 2 分の 1    ※民法 1042 条 1 項 2 号を参照

問 18. 夫の甲と妻の乙（配偶者）は、既に 30 年間の法律婚を維持してきている場合に、妻の乙が住居を確保し安心して生活を維持するために生前および遺産分割時にとることのできる対策行為は何か。民法の条文を指摘して答えなさい。

相続開始の時に、被相続人の財産に属した建物に居住していた生存配偶者は、遺産の分割によって配偶者居住権を取得することとされたとき、あるいは配偶者居住権が遺贈の目的とされたとき、生涯にわたりあるいは一定の期間（民法 1030 条）、住み続けてきた建物を無償で使用し収益する権利（使用貸借権あるいは所有権によって構成される居住権）を取得することができる（民法 1028 条 1 項 1 号・2 号、1032 条）。

婚姻期間が 20 年以上（本問では 30 年間）である一方配偶者の被相続人から他方の生存配偶者に、居住の用に供する建物又は敷地（土地）が遺贈又は贈与されたときには、被相続人が遺産分割の際に行われる特別受益者の持ち戻し計算（民法 903 条第 1 項）をしない旨の意思を表示したものと推定される（民法 903 条 4 項）。したがって、生存配偶者は、建物の長期居住権と敷地権を所有権によって取得することができ、持ち戻し計算を行わない結果として、遺産分割によって今後の生活費等に充当し得る預貯金などの金額も、平成 30 年の民法改正前と比較して、より多くを確保することが可能である。